

[JPACP2024-014] 東北心理学会第77回大会・日本心理学会認定心理士の会共催
特別講演・特別シンポジウム (8/27-28)

If you are unable to see this message, click the URL below.
<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2024/07/JPACP2024-014.pdf>

公益社団法人日本心理学会 認定心理士 各位

◆-----◆
東北心理学会第77回大会・
公益社団法人日本心理学会認定心理士の会共催
特別講演・特別シンポジウム
https://psych.or.jp/authorization/240827_tohoku/
◆-----◆

東北心理学会第77回大会・
公益社団法人日本心理学会認定心理士の会共催
特別講演・特別シンポジウム

日時：
2024年8月27日(火) 15:00—16:30 (開場 14:30)
「村瀬嘉代子先生に伺う心理学の過去・現在・未来」(仮題)

2024年8月28日(水) 13:00—14:30 (開場 12:30)
「近年の犯罪被害者等支援制度を踏まえた専門職協働の在り方
～京都アニメーション事件被害者、弁護士及び公認心理師の視点からの検討～」

・特別講演
「村瀬嘉代子先生に伺う心理学の過去・現在・未来」(仮題)
https://psych.or.jp/authorization/240827_tohoku/

日時：2024年8月27日(火) 15:00—16:30 (開場 14:30)
会場：宮城学院女子大学 ハンセン記念ホール
参加費：無料

講演者：
村瀬 嘉代子氏 (大正大学名誉教授・元日本臨床心理士会会長
・前日本心理研修センター理事長)

対談：
大橋 智樹氏 (宮城学院女子大学)

企画趣旨：
前の心理研修センターの理事長で、日本臨床心理士会の会長も務められた村瀬嘉代子先生をお呼びしての、対談形式の講演会です。村瀬先生といえば日本の心理学者で知らぬ者はいないと言っても過言ではない方ではありますが、ご本人の口癖は「私なんて普通の主婦」です。そんなことをまったく嫌味にならないような口調でお話になる先生の素顔をお届けできればと思っております。心理関係者すべてが少し心にチクッと刺さるような辛辣なご発言もあるかもしれません。

*事前申し込み制です（定員：各 250 名 定員に達した場合は抽選）。

*認定心理士の方限定でご参加いただけます。

・特別シンポジウム

「近年の犯罪被害者等支援制度を踏まえた専門職協働の在り方
～京都アニメーション事件被害者，弁護士及び公認心理師の視点からの検討～」

https://psych.or.jp/authorization/240827_tohoku/

日時：2024年8月28日（水）13:00—14:30（開場 12:30）

会場：宮城学院女子大学 ハンセン記念ホール

参加費：無料

話題提供者：

A氏（京都アニメーション事件被害者）

大張 慎悟氏（大張法律事務所）

小澤 優璃氏（宮城県警察犯罪被害者支援室）

司会：

浅野 晴哉氏（宮城学院女子大学）

企画趣旨：

2008年の被害者参加制度創設を機に，犯罪被害者等は，主体的に刑事裁判に関わることができるようになった。しかし，犯罪被害だけでなく過熱取材，加害者の言動及び裁判などによる心理的ストレスが甚大なため，発生直後からの心理支援は重要になる。さらに，相続，離職及び加害者側との交渉など刑事のみならず民事に関する法的問題にも直面するため，早期の段階からの法的支援が実現できる犯罪被害者等支援弁護士制度が，2026年までに施行する見込みとなった。そこで，本シンポジウムにおいては，京都アニメーション事件被害者，その支援に従事した弁護士及び公認心理師が話題提供をする。専門家だけではなく，当事者の視点が加わることから，絶望の淵にいる犯罪被害者等へ更なる支援の手を差し伸べられる新たな道筋を見出したい。

*事前申し込み制です（定員：各 250 名 定員に達した場合は抽選）。

*どなたでもご参加いただけます。

お申し込み方法：

日本心理学会及び東北心理学会のホームページにてご案内をしております。下記の東北心理学会の申し込みサイトより該当の「イベント名」と「開催日」をご確認の上，必要事項をそれぞれ入力してお申し込みください。

この2つの企画は，別々のお申し込みとなります。

<https://sites.google.com/view/tpa77/kikaku>

申し込み期限：2024年8月12日（月）

イベントに関する問い合わせ先：東北心理学会第77回大会事務局

tpa77@mgu.ac.jp



